

経営比較分析表（令和4年度決算）

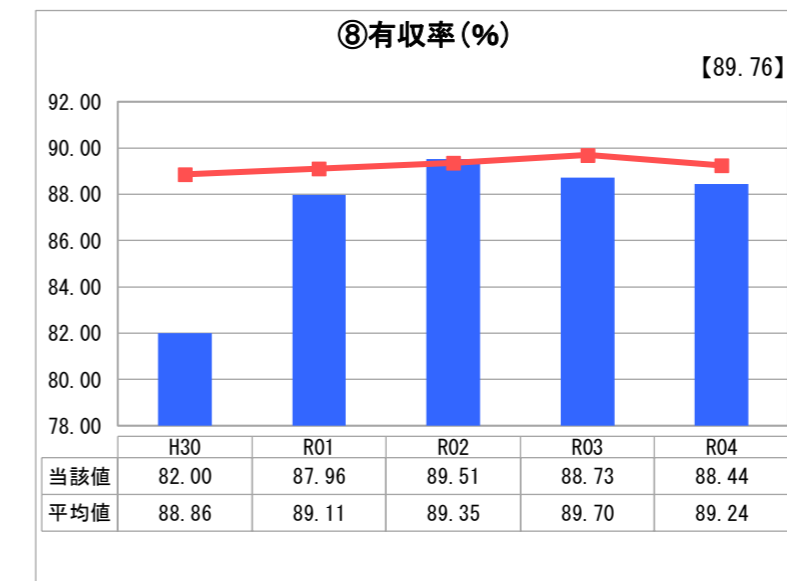
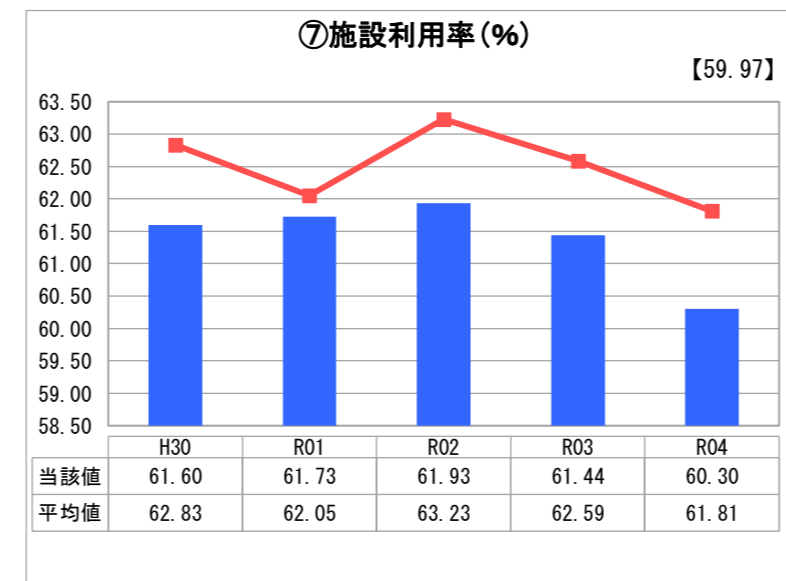
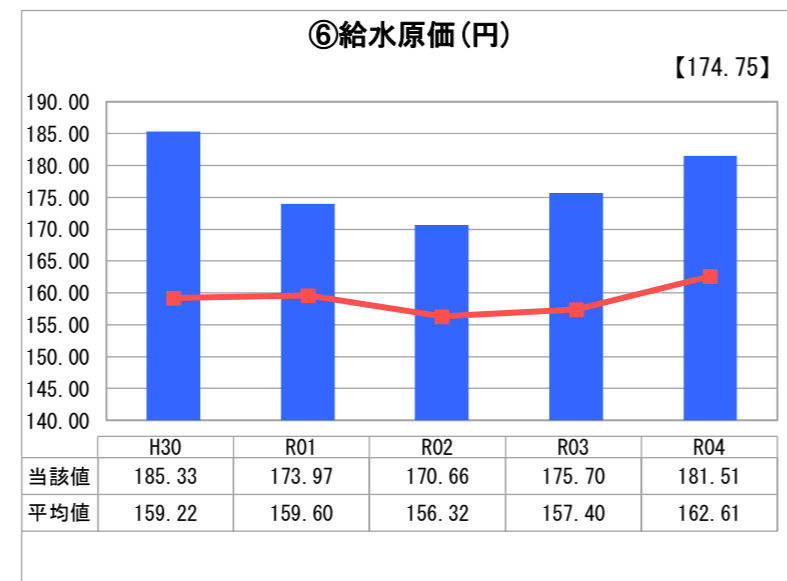
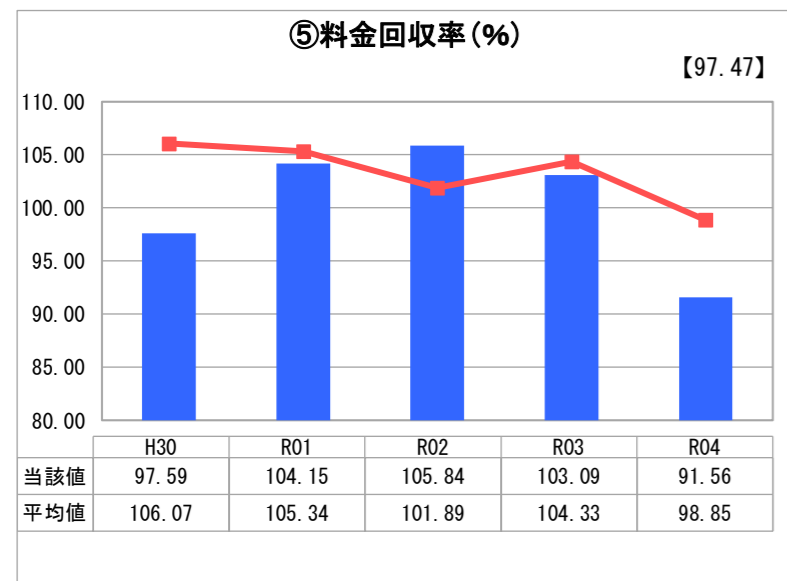
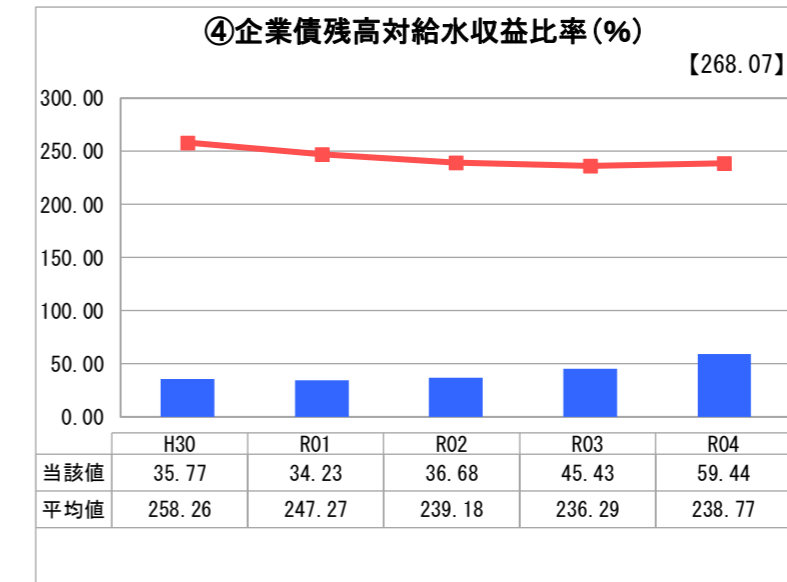
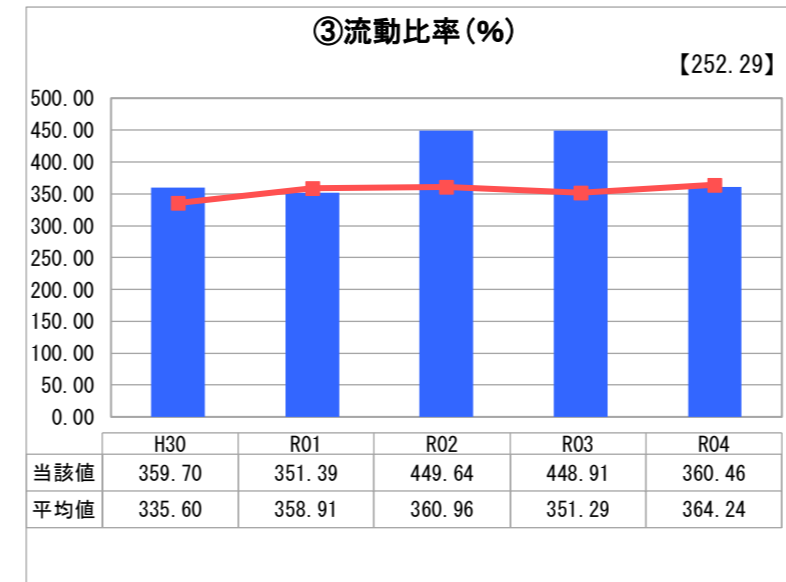
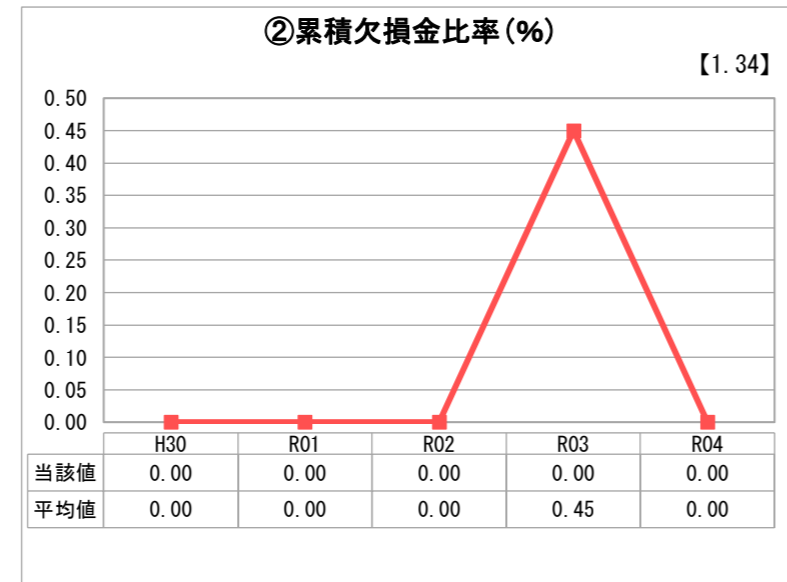
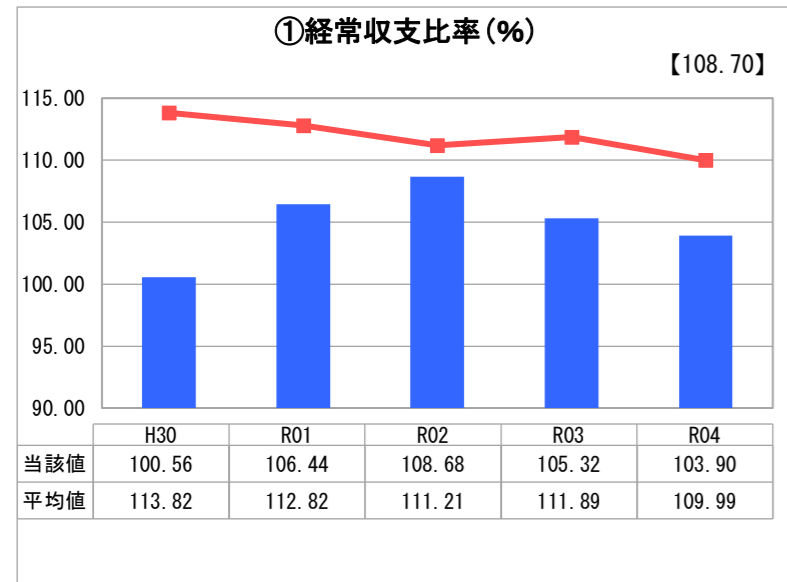
岐阜県 多治見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	89.06	99.95	3,168	

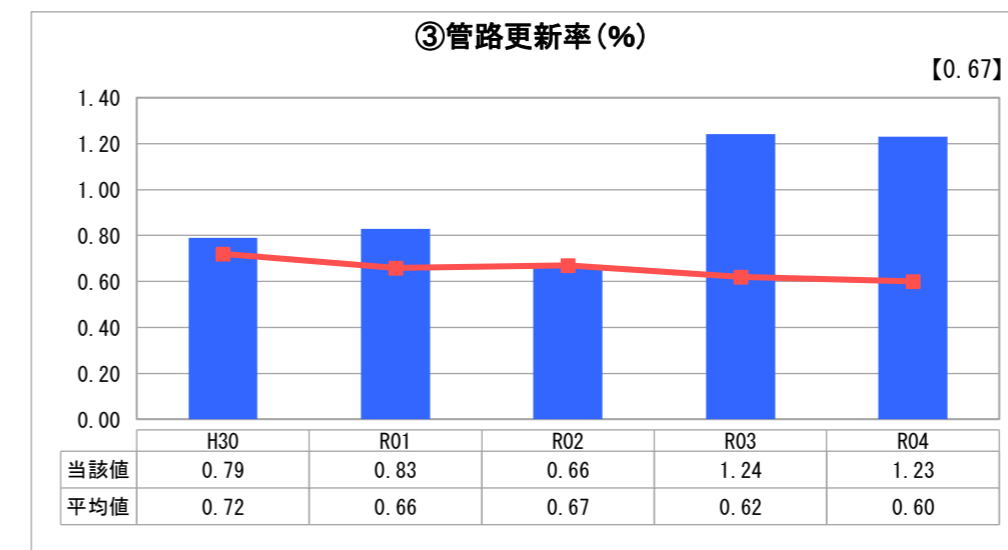
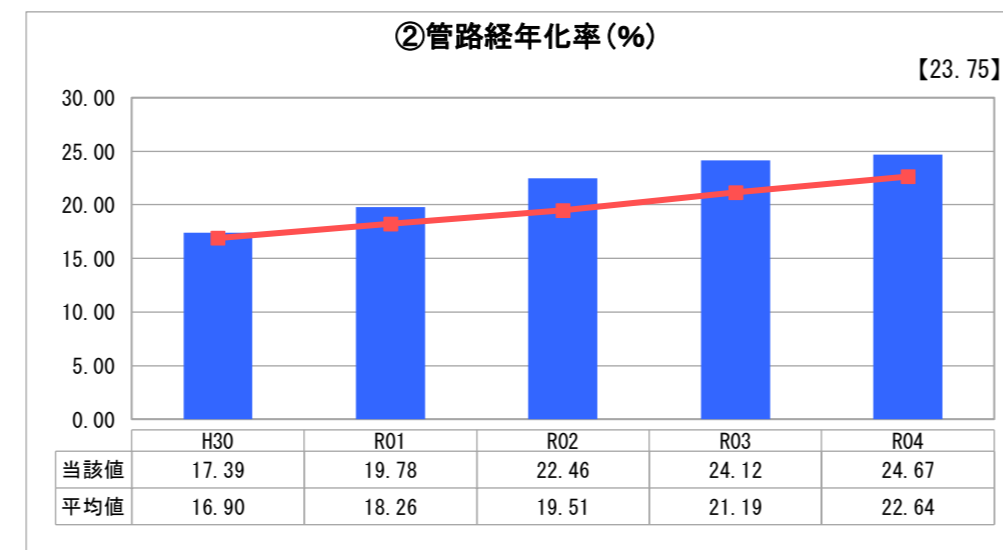
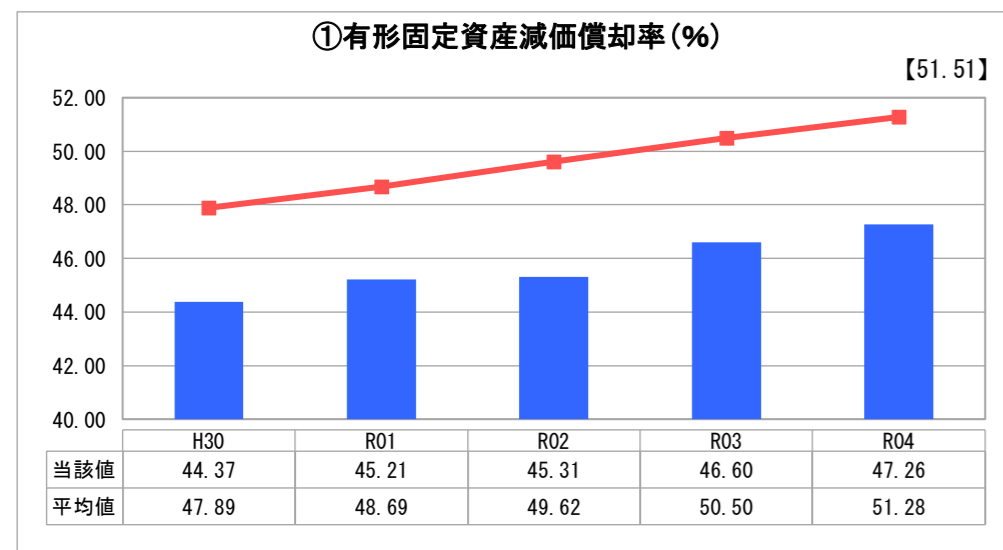
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
107,278	91.25	1,175.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
106,683	86.40	1,234.76

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率・⑤ 料金回収率
料金回収率は、水道基本料金を4箇月間減免したため低下していますが、経常収支比率は100%を超えており、おおむね良好な状況であるといえます。
- ③ 流動比率
前年度よりも低下しているものの、300%を超え高い数値を維持しており、短期的な資金繰りの安定性は高いといえます。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
老朽化した管路の更新のため企業債の借入を行いました(200,000千円)。平成28年度から継続して借入を行っており、企業債残高は増加していますが、類似団体平均値との比較で低い数値となっています。
- ⑥ 給水原価
類似団体平均値より高くなっています。これは当市が県営水道から受水していることが原因といえます。また、令和3年度から増加傾向にあるため費用の削減に努める必要があります。
- ⑦ 施設利用率
類似団体平均値よりも下回っており、前年度よりも低下していることから、適切な運用を考えていく必要があります。
- ⑧ 有収率
ここ数年は、回復傾向でしたが、減少しました。漏水の早期発見・修繕等による有収率の向上が必要です。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率・② 管路経年化率
右肩上がりであり、管路等の老朽化は年々進行しています。
- ③ 管路更新率
前年度と同水準で推移し、類似団体平均値も上回りました。要因としては、前年同様に企業債の借入(200,000千円)を行い管路の更新をしたことが挙げられます。
今後も、災害時に備えて配水池から避難所や重要施設へ直結する配水管路、老朽化した配水管・施設などについて、限られた予算の中で補助金等を積極的に活用しながら、計画的に更新していくことが重要になります。

全体総括

当市水道事業の令和4年度時点の経営状況は、各指標の示すとおり、比較的良好な状況を保っています。しかし、管路等の老朽化は年々進行しており、回復してきた有収率も減少しました。今後は、老朽化した管路の更新や大規模災害に備えた耐震化対策等によるコストの増加が見込まれる一方、近年の急速な人口減少等に伴い料金収入や内部留保資金の減少等により、厳しい局面を向かえることが予測されます。安定的に水道事業を継続していくためには、補助金の積極的な活用、計画的な企業債の借入、効率的な経営実施によるコスト削減に取り組み、さらには水道料金の値上げも視野に入れながら、さまざまな対応を検討していく必要があります。今後も効率的な事業運営に努め、経営の健全性を確保するとともに、住民の皆様が安心して安定的に水道を使っていたらという努力してまいります。